

学級活動指導案

令和2年10月 第5学年 指導者 千木良 昌計

1 題材名 がんばった運動会～運動会をふり返ろう～

2 学習指導要領上の位置付け

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。

3 目標

互いの努力や貢献を認め合う「ONE TEAMカード」を共有する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 学級目標や運動会に向けた個人目標に対する達成度を伝え、認め合う中で、自己の成長や変容を把握し、自己への理解を深める。(知識及び技能)

イ 学級目標や運動会に向けた個人目標を振り返ったり、互いの思いを伝え、互いの努力や貢献を認め合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 今後の学校生活において、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、友達と協力して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 別紙参照

5 本時の展開

(1) ねらい

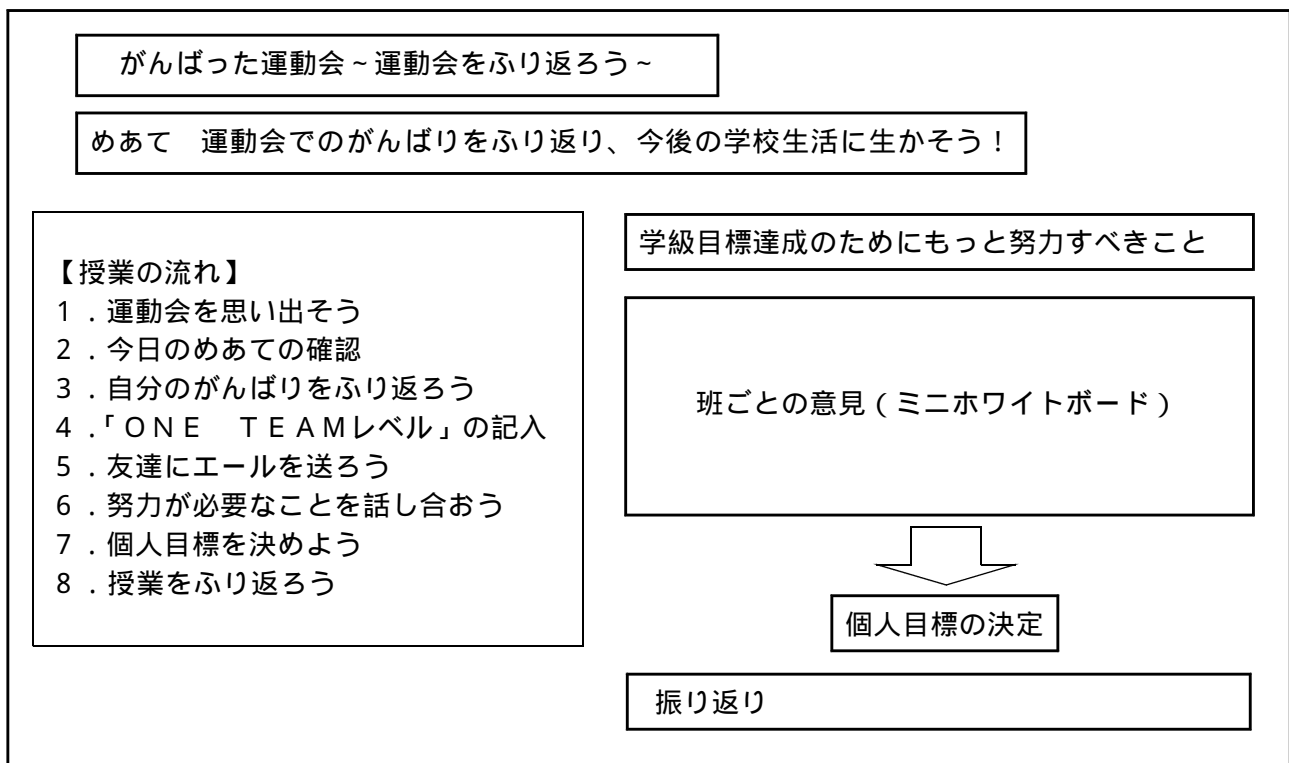
運動会の振り返りにおいて、個人で自分の活躍を振り返ったり、グループ交流の中で友達から認められたり、励まされたりすることによって、児童の自己有用感を高め、今後の生活に目標をもって主体的に取り組もうとする態度を育てる。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点 研究上の手立て 評価項目<方法(観点)>
<p>1 つかむ(課題の把握)</p> <p>運動会のスライドショーを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで運動会がんばったな。 めあての確認を行う。 運動会練習の前に個人で目標を決めてがんばってきたな。 	5分	<p>運動会の練習や本番の様子をまとめたスライドショーを視聴させることで、本時の授業に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>前回の「ONE TEAMカード」を振り返り、自分が頑張ってきたことを思い出させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">[めあて] 運動会でのがんばりをふり振り返り、今後の学校生活に生かそう！</div>
<p>2 さぐる(可能性への気付き)</p> <p>学級目標を受けた個人目標に対する自分の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ONE TEAMカード」に運動会を終えての自分の振り返りを書こう。 自分の「ONE TEAMレベル」を星の数で表す。 精一杯がんばったから星の数は五つかな。 	10分	<p>自分のよさや頑張りを振り返ることができるよう個人で考える時間をつくり「ONE TEAMカード」に記入させる。</p> <p>記入が進まない児童や配慮が必要な児童については、運動会での具体的ながんばりなどを積極的にアドバイスをし、記入を促す。</p> <p>自分の頑張りを5段階で評価させ、「ONE TEAMカード」に記入させる。</p>
<p>3 見付ける(解決方法等の話し合い)</p> <p>友達の頑張りに対してエールを送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなとてもがんばっていたな。 友達に喜んでもらえるようなエールを送ろう。 <p>学級目標達成のための努力事項を班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会で反省することもあったな。 これからもっと努力が必要なことを班のみんなと話し合おう。 	20分	<p>友達の意見に対して前向きな言葉をかけるように促し、エールを記入させる。</p> <p>相手がもらって嬉しい気持ちになるよう、気持ちを込めて丁寧な字で書かせる。</p> <p>学級目標達成のためにさらに必要な努力事項を話し合うことで、今後の学校生活に主体的に取り組もうとする意欲をもたせる。</p> <p>班編制を4人組の小グループにすることで、より活発な話し合いになるよう配慮する。</p> <p>話し合うポイントを明確にすることで、話し合い活動を円滑に進めさせる。</p> <p>班で話し合われた意見を黒板掲示用のミニホワイトボードに記入させることで、班ごとの意見を集約しやすくする。</p> <p>話し合いが終わった班は、掲示された他の班の意見を見て、今後の個人目標について考えさせる。</p>

<p>4 決める（個人目標の意思決定） 個人目標を意思決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから、どんなことを目標にがんばっていかうかな。 ・運動会で学んだことを生かそう。活動の振り返りをする。 ・学級目標が達成できるように、これからも「ONE TEAM」でがんばっていきな。 ・友達からエールをもらって嬉しかったから、これからもっとがんばろう。 	10分	<p>班で話し合ったことや他の班の意見を参考にし、個人目標を考えさせる。</p> <p>具体的な実践目標を立て、今後の学校生活に対する意欲を高められるようにする。</p> <p>「この授業で学んだこと」「エールをもらった気持ち」「今後の学校の生活に生かしたいこと」等を学習の感想として記入させる。</p> <p>教師からのアドバイスは、児童が自己有用感を味わえるような内容にし、より主体的な取組へつながるようにする。</p> <p>クラスがさらに「ONE TEAM」になるように励ます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>個人目標の振り返りや友達からのエールを基に、今後の生活への意欲をもつことができる。</p> <p>評価項目 ONE TEAMカード（学）</p> </div>
--	-----	---

6 板書計画



<p>目標</p>	<p>互いの努力や貢献を認め合う「ONE TEAMカード」を共有する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 学級目標や運動会に向けた個人目標に対しての達成度を伝え、認め合う中で、自己の成長や変容を把握し、自己への理解を深める。(知識及び技能) イ 学級目標や運動会に向けた個人目標を振り返ったり、互いの思いを伝え、互いの努力や貢献を認め合ったりする。(思考力、判断力、表現力等) ウ 今後の学校生活において、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、友達と協力して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 学級の友達と協働する様々な学級活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、よりよい合意形成や意思決定の方法を身に付けている。(知識及び技能) (2) 集団の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりしている。(思考力、判断力、表現力等) (3) 自主的、実践的な学級活動を通して身に付けたことを生かして、学校における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>過程</p>	<p>基本的な学習活動 学級全体 計画委員</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業等のポイント</p>	<p>・目指す児童生徒の姿【観点】(評価方法)</p>
<p>事前の活動</p>	<p>1 問題を発見・確認する。 題材を設定する。 ・これまでの取組を振り返り、運動会の目的を考える。 問題を確認する。 今年はどんな運動会にしたいか、またそうするためにはどうすればよいかを考え、話し合う。 共通の課題を設定する。 クラスの運動会スローガンを決定する。 問題意識を高める。 ・話し合ったことから学級目標を受けた個人の目標を決める。 ・目標の達成のために運動会に取り組む。</p>	<p>新たな行事に向けて目標をもって取り組めるよう、これまでの運動会での取組を振り返らせ、今後の活動の見通しをもたせる。 「高学年としての運動会」「大変な状況での運動会」「5年生にしかできない運動会」といった様々な角度から、運動会を成功させるための課題を確認させる。 話し合いを行うことで、自分の考えを発表させたり、友達の考えを理解させたりする。 自己の現状に即して、自ら課題を見いだしたり、解決方法を決めたりして、自主的に実践させる。個人の目標が達成できるよう、児童相互の協働や教師との対話を日々繰り返し行っていく。</p>	<p>・今後の活動の見通しをもつことができる。 【学】(ワークシート) ・グループで意見を出し合い、発表することができる。 【思・判・表】(話し合い) ・個人の目標を決めることができる。 【知・技】(ONE TEAMカード)</p>
<p>本時の活動</p>	<p>2 解決方法等を話し合う。 課題を把握する。 ・運動会のスライドショーを視聴する。 ・めあての確認を行う。 可能性に気付く。 ・学級目標を受けた個人目標に対しての自分の振り返りを記入する。 ・「ONE TEAMスター」に自分のがんばりを記入する。 解決方法等を見付ける。 ・友達が書いた振り返りを共有する。 ・友達の頑張りに対してエールを送る。 3 解決方法を決定する。 個人の意思決定をする。 ・学級目標達成のための努力事項を班で話し合う。 ・友達からの温かいエールをもらい、これからの生活への意欲をもつ。 ・班の話し合いから個人目標の意思決定をする。</p>	<p>運動会の練習や本番の様子をまとめた映像を視聴させることで、本時の授業を意欲的に取り組ませる。 前回の「ONE TEAMカード」を振り返り、自分が頑張ってきたことを思い出させる。 自分のよさや頑張りを振り返ることができるよう個人で考えさせる時間をつくり「ONE TEAMカード」を記入させる。 自分の「ONE TEAMレベル」を星の数で表し、自分の頑張りや5段階で評価させる。 運動会での友達の頑張りを読み、エールの内容を考えさせる。 友達の意見に対して前向きな言葉をかけるように促し、エールを記入させる。 小グループでの班での話し合いの場を設定し、意見を交流し、個人の考えが深まるようにさせる。 教師からのアドバイスは、児童が自己有用感を味わえるような内容にし、より主体的な取組へつながる意欲が高まるようにさせる。 「ONE TEAMカード」から教師との対話を通して、自己の考えを発展させる。</p>	<p>・自分の頑張りや客観的に振り返ることができる。 【思・判・表】(ONE TEAMカード) ・友達の頑張りやそれを言葉に表すことができる。 【思・判・表】(ONE TEAMカード) ・個人目標の振り返りや友達からのエールを基に、今後の生活への意欲をもつことができる。 【学】(ONE TEAMカード)</p>
<p>事後の活動</p>	<p>4 決めたことを実践する。 意思決定したことを実践する。 ・学級目標を軸にした年間の特別活動の取組を継続していく。 ・「ONE TEAMの木」を活用し、日々の実践に生かしていく。 5 振り返る。 実践を定期的に振り返る。 ・次への行事の目標を立て、実践を繰り返し行っていく。</p>	<p>あらゆる活動の中で、常に学級目標を意識させ、クラスが「ONE TEAM」になれるよう日々の実践を行っていく。 「ONE TEAMの木」をいつでも見られるように教室に掲示しておくことで、目標をもって学校生活を送らせる。 実践を定期的に振り返り、見通しをもって目標が達成できるようにしていく。</p>	<p>・今後の活動の見通しをもち、意欲を高めている。 【学】(ONE TEAMカード)</p>